

2009年度

科目名	薬物治療学A				
担当教員	雪村 時人				
配当	薬科3			コード	11420
開期	後期	講時	月曜日1限	単位数	2
授業テーマ	薬物治療に関する基本的知識と技能を修得する。				
目的と概要	将来、適切な薬物治療に貢献できるようになるために、心臓と血管系疾患、血液・造血器疾患、消化器系疾患、およびそれらの治療に用いられる代表的な医薬品に関する基本的知識を修得する。併せて、薬物治療実施に必要な情報を自ら収集するための基本的技能を身につける。薬物治療に関するヒューマニズムについて学ぶ。				
成績評価法	期末試験およびその他(課題、レポート、小テスト、出席など)による				
テキスト	薬と疾病 II. 薬物治療(1) 日本薬学会編 東京化学同人				
参考書					
履修に当たっての注意・助言	補助教員:山形 雅代				
講義計画					
回数	授業形態	授業内容	到達目標(SBO)	コア対応番号	学習領域
1	講義	薬物治療とは 薬物治療に関するヒューマニズムについて 循環器系(1) 循環器系疾患とは	代表的な疾患における薬物治療と非薬物治療(外科手術、食事療法など)の位置づけを説明できる。	C14(2)	知識
			適切な治療薬の選択について、薬効薬理、薬物動態に基づいて判断できる。	C14(2)	知識・技能
			医療の担い手として、生涯にわたって自ら学習する大切さを認識する。	A(2)	態度
			心臓および血管系における代表的な疾患を挙げることができる。	C14(2)	知識
2	講義	循環器系(2) 不整脈	不整脈の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	C14(2)	知識
3	講義	循環器系(3) 心不全	心不全の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	C14(2)	知識
4	講義	循環器系(4) 高血圧	高血圧の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	C14(2)	知識
5	講義	循環器系(5) 虚血性心疾患	虚血性心疾患の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	C14(2)	知識
6	講義	循環器系(6) その他の循環器疾患 演習	閉塞性動脈硬化症、心原性ショックについて概説できる。	C14(2)	知識
			アナフィラキシーショックの原因となる医薬品、病態生理および治療薬について説明できる	独自	知識
7	講義	循環器系(7)	指定された循環器系疾患例について必要な情報を収集し、適切な薬物治療法を考案することができる。	C14(2)	技能
8	講義	血液・造血器系(1) 血液・造血器疾患とは 貧血	血液・造血器における代表的な疾患を挙げることができる。	C14(2)	知識
			貧血の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	C14(2)	知識
			再生不良性貧血など薬剤性貧血の原因となる医薬品、病態生理および治療薬について説明できる	独自	知識
9	講義	血液・造血器系(2) 白血病	白血病の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	C14(2)	知識
			悪性リンパ腫の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	C14(2)	知識

10	講義	血液・造血器系(3) 播種性血管内凝固症候群(DIC) 血友病 悪性リンパ腫 紫斑病 白血球減少症 血栓・塞栓症	播種性血管内凝固症候群(DIC)の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	C14(2)	知識
			血友病、紫斑病、白血球減少症、血栓・塞栓症について概説できる。	C14(2)	知識
			播種性血管内凝固症候群(DIC)、無顆粒球症、血小板減少症の原因となる医薬品について説明できる	独自	知識
11	講義	血液・造血器系(4) 演習	指定された血液・造血器系疾患例について必要な情報を収集し、適切な薬物治療法を考案することができる。	C14(2)	技能
12	講義	消化器系(1) 消化器系疾患とは 消化性潰瘍	消化器系の部位別(食道、胃・十二指腸、小腸・大腸、胆道、肝臓、膵臓)に代表的な疾患を挙げることができる。	C14(2)	知識
			消化性潰瘍の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	C14(2)	知識
			消化性潰瘍の原因となる医薬品について説明できる	独自	知識
13	講義	消化器系(2) 腸炎 肝炎・肝硬変 膵炎	腸炎の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	C14(2)	知識
			肝炎・肝硬変の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	C14(2)	知識
			膵炎の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	C14(2)	知識
			薬物性肝障害の原因となる医薬品について説明できる	独自	知識
14	講義	消化器系(3) 食道癌 胃癌 肝癌 大腸癌 胃炎 薬剤性肝障害 胆石症 虫垂炎 クローン病 演習	食道癌、胃癌、肝癌、大腸癌、胃炎、薬剤性肝障害、胆石症、虫垂炎、クローン病について概説できる。	C14(2)	知識
			指定された消化器系疾患例について必要な情報を収集し、適切な薬物治療法を考案することができる。	C14(2)	技能
15	講義	まとめ 循環器系疾患 血液・造血器系疾患 消化器系疾患	循環器系疾患、血液・造血器系疾患、消化器系疾患、およびそれらの治療に用いられる代表的な医薬品の説明ができる	C14(2)	知識
			循環器系疾患、血液・造血器系疾患、消化器系疾患の薬物治療に必要な情報を収集し、適切な薬物治療法を考案することができる。	C14(2)	技能
授業方法					
一般目標	学習方法	場所	教員数 (補助者数)	教科書以外の教材など	時間(分)
C14 (2) A(2)	講義	講義室	1(1)	配布資料など	90×15